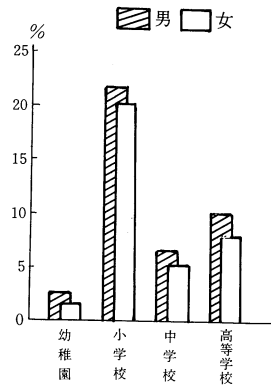


へんとう肥大の被患率

五、へんとう肥大
へんとう肥大の被患率は、幼稚園七・〇七パーセント、小学校六・三一パーセント、中学校四・二二パーセント、高等学校一・四五パーセントと、学校段階が進むにつれて低くなっている。これを男女別に見ると、男子の被患率が高くなっており、幼稚園一・八三ポイント、小学校一・三九ポイント、中学校〇・五四ポイント、高等学校〇・二一ポイントと、それぞれ女子を上回っている。

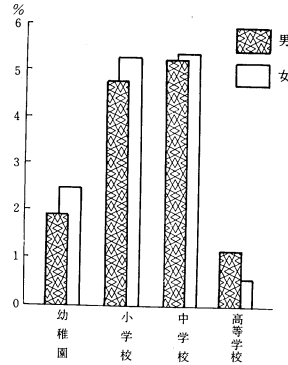


その他の歯疾・異常

六、結膜炎

結膜炎の被患率を男女別、学校種別に見ると、高等学校を除いては女子が高く、幼稚園〇・六四ポイント、小学校〇・五五ポイント、中学校〇・〇六ポイントそれぞれ男子を上回っている。

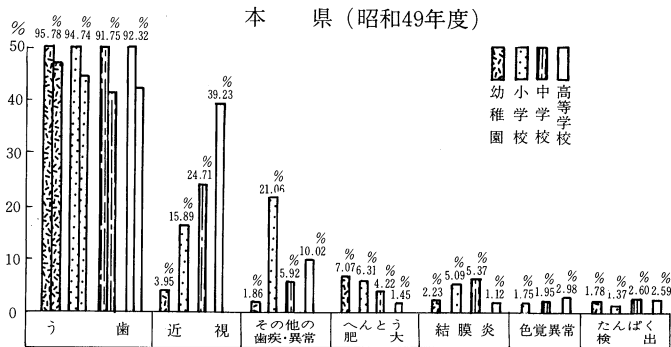
結膜炎の被患率



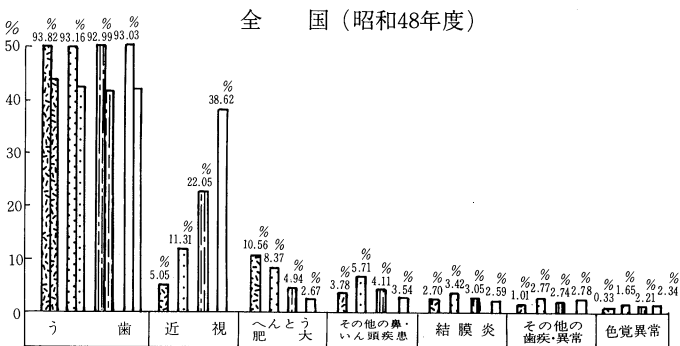
七、本県と全国の主な疾病・異常の比較

本県と全国(昭和四十八年度)の主な疾病・異常を比較すると、いずれも歯、近視が特に高い率を示している。

本県の歯の被患率は、幼稚園一・九六ポイント、小学校一・五七ポイント、全国平均を上回っており、中学校、高等学校は全国平均より少ない。また近視については、幼稚園を除いて各学校種別とも全国平均より高く、小



(注)「その他の歯疾・異常」とは、歯以外の歯ざん炎・歯そうの漏・不正こう合等の疾患である。色覚異常の検査は幼稚園では実施しない。



(注)「その他の鼻・いん頭疾患」とは、蓄のう症、アデノイド・へんとう肥大以外のいん頭炎・こう頭炎等の疾患である。

学校四・五八ポイント、中学校二・六六ポイント、高等学校〇・六一ポイント、それぞれ全国平均を上回っている。

近視について被患率の高い「その他の歯疾・異常」は、全国平均に比して幼稚園で〇・八五ポイント、小学校一・八二九ポイント、中学校三・一八ポイント

本県と全国の主な疾病・異常

ト、高等学校七・二四ポイント高い。また、へんとう肥大は、各学校種別とも三・四九ポイントから〇・七二ポイント低くなっている。

(注)「ポイント」とは、割合の差の単位である。